

決算報告書

第1期

平成16年度

平成16年度 決算報告書

国立大学法人 鹿屋体育大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算 - 予算)	備 考
収入				
運営費交付金	1,663	1,663	0	
施設整備費補助金	23	22	1	(注1)
船舶建造費補助金	-	-	-	
施設整備資金貸付金償還時補助金	0	0	0	
国立大学財務・経営センター施設費交付金	0	0	0	
自己収入	476	459	17	
授業料及入学金検定料収入	424	406	18	(注2)
附属病院収入	-	-	-	
財産処分収入	0	0	0	
雑収入	52	53	1	(注3)
産学連携等研究収入及び寄付金収入等	34	31	3	(注4)
長期借入金収入	0	0	0	
計	2,196	2,175	21	
支出				
業務費	2,139	2,017	122	
教育研究経費	1,302	1,203	99	(注5)
診療経費	-	-	-	
一般管理費	837	814	23	(注6)
施設整備費	23	22	1	(注7)
船舶建造費	-	-	-	
産学連携等研究経費及び寄付金事業費等	34	31	3	(注8)
長期借入金償還金	0	0	0	
計	2,196	2,070	126	

予算と決算の差異について

(注1) 施設整備費補助金収入については、補助対象事業経費の実支出額が減少したため(注7参照) 予算金額に比して決算金額が472,500円少額となっております。

(注2) 授業料及入学金検定料収入については、

授業料収入：平成17年度授業料の改定に伴う徴収時期の変更により、平成16年度中に受領した平成17年度授業料の前納受領件数が減少したため、予算金額に比して決算金額が22,519,800円少額となっております。

入学料収入：平成17年度入学者数の増により、予算金額に比して決算金額が4,806,000円多額となっております。

(注3) 自己収入については、

学校財産の貸付料収入：予算段階で預り金に区分していた利用者負担の寝具リース料及び光熱水料を、貸付料収入へ区分変更したこと等により、予算金額に比して決算金額が4,084,159円多額となっております。

職員宿舍貸付料収入：宿舍使用料改正(増)について、経過措置の適用等により予算金額に比して決算金額が

2,957,710円少額となっております。

雑収入：台風災害に伴う火災保険金受領により、予算金額に比して決算金額が1,442,374円多額となっております。

講習料収入：平成16年度中において、一部の公開講座を鹿屋体育大学スポーツクラブ（外部団体）に移行したことに伴う収入の減により、予算金額に比して決算金額が812,900円少額となっております。

（注4）産学連携等研究収入及び寄付金収入等については、

受託研究収入：受入額の減により、予算金額に比して決算金額が2,032,000円少額となっております。

奨学寄附金収入において、受入額の減により、予算金額に比して決算金額が1,223,719円少額となっております。

（注5）教育研究経費については、

教員の人件費：退職者数の減等による退職手当支給額が96,435,292円、採用計画の変更等による給与支給額が47,299,952円、また、予算段階で教員人件費に区分していた教育研究に携わる学生等アルバイト（ティーチングアシスタントを除く）について、職員人件費に区分変更したこと等による13,748,595円が、それぞれ予算金額に比して決算金額が少額となっております。

教育研究事業費：老朽施設等の保全及び教育研究環境の充実に要する経費が新たに発生したため、予算金額に比して決算金額は58,669,409円多額となっております。

（注6）一般管理費については、

役員及び職員人件費：退職者数の減等により退職手当支給額が22,024,309円、報酬及び給与が人事異動による平均給与支給額の減等により23,581,249円が、それぞれ予算金額に比して決算金額が少額となっております。また、予算段階で教員人件費に区分していた教育研究に携わる学生等アルバイトについて、職員人件費に区分変更（ティーチングアシスタントを除く）したこと（注5 - 参照）等により、予算金額に比して決算金額が11,605,997円多額となっております。

管理事業：高圧ケーブルの入替等管理施設の保全等に要する経費が新たに発生したため、予算金額に比して決算金額が10,388,814円多額となっております。

（注7）施設整備費については、競争入札等による補助対象事業経費の実支出額が減少したため、予算金額に比して決算金額が472,500円少額となっております。

（注8）産学連携等研究経費及び寄付金事業費等については、産学連携等研究収入及び寄付金収入が減少したことにより（注4参照）予算金額に比して決算金額が3,255,719円少額となっております。